（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら本木教室			
○保護者評価実施期間	令和8年1月23日	～	令和8年2月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	101件	（回答者数）	82件
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日	～	令和8年2月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	19件	（回答者数）	19件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	在籍職員の支援力と専門性の高さ	専門性の高いベテラン職員が、比較的経験が浅い職員に実際の支援で見本を見せて、支援のポイントについても言語化して伝えている。また経験問わず職員の提案に対して肯定的に検討を行い、実践することで積極的にスキルを身につけていっている。	保護者参加日を設けて、児童の様子はもちろん職員の支援についてもみていただきご意見をいただくことで更なるスキル向上に努めたい。
2	支援方針に関する保護者との密な情報共有	保護者へ児童を引き渡す際に、些細な変化であっても伝えることで、児童の成長を見逃さずに保護者と連携をして支援を図っている。	保護者参加日を設けて、保護者の目で児童の様子を見てもらい、より具体的な支援方針を保護者と練っていけるよう努めたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童理解に対する職員間の意識の違い	児童情報については記録と朝礼等で職員へ共有を図っている。児童福祉業界経験の違いによる意識レベルの違いであると考えられる。	1度の共有で終わらせず、大切なことは定期的に情報共有を行うように努めたい。
2			
3			